

平成28年度 商工労働観光部 運営目標

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
1	府職員や中小企業応援隊が小規模企業を重点的に訪問し、伴走支援を行うことにより、経営の安定・成長を応援します。		
達成手段 (数値目標)	<p>◆未来のリーディングカンパニーを発掘・支援します。</p> <p>① ・「ものづくり系小規模企業」にターゲットを絞り、「独自の強みを持つ原石的企業(小さな巨人企業)」を職員が自ら発掘、紹介、応援 &lt;企業の発掘・支援件数 20件(㊸新規)&gt;</p>	◎	・支援件数 21件(105%)
	<p>◆小規模企業2万社を重点的に訪問します。</p> <p>② ・中小企業応援隊が、それぞれの企業の課題解決に向けた最適な支援を実施 &lt;小規模企業訪問件数 2万社、うち新規支援企業数 (4,000社全体の20%)(㊸実績:(全体)26,038社、延べ54,698件)&gt;</p>	◎	・訪問件数20,290件(101%) うち新規:2,985件(75%)
	<p>◆中小企業応援隊と連携し、小規模企業向けの融資や設備投資への支援を行います。</p> <p>③ &lt;小規模向け融資件数 3,000件(㊸実績3,142件)&gt; &lt;小規模向け設備投資リース補助件数 300件(㊸新規)&gt; &lt;金融機関・中小企業応援隊等との連携会議開催 5回以上(㊸新規)&gt; &lt;倒産件数 230件以下(㊸実績230件)&gt; &lt;売上20%アップ企業 1,000社(㊸実績:集計中)&gt; &lt;欠損から黒字へ転換する法人 500社(㊸実績:集計中)&gt; &lt;欠損法人割合 71.6%(㊸実績:集計中)&gt;</p>	◎	<p>・小規模企業向け融資件数 2,241件(75%) 【未達成の要因・理由】 金融機関のプロパー融資の増加に加え、平成27年度の大幅な制度改正(金利引き下げ等)による当該年度の融資件数の増加の反動によるもの。</p> <p>・リース補助件数 1件(0.3%) 【未達成の要因・理由】 単年度事業であったことや、申請者が設備導入事業者であったこと、また、事業者に対し十分な制度周知ができなかったため。</p> <p>・連携会議開催 15回(300%) ・倒産件数 227件(132%) ・売上20%アップ企業 ㊸実績1,653社(165%) ・欠損から黒字へ転換する法人 ㊸実績647社(129%) ・欠損法人割合 ㊸実績68.3%</p>
	<p>◆経営支援の外部評価を行い、小規模事業者の経営支援活動を強化します。</p> <p>④ ・商工会・商工会議所の評価制度を活用し、結果をフィードバックすることで経営支援の質や経営支援員のモチベーションを向上</p>	◎	・外部評価審査会の実施、評価、結果通知、配分済み

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
2	京都経済の「成長の芽」となる中小企業の商品開発や新分野進出を支援し、エコノミック・ガーデニングを新たなステージに進めます。		
達成手段 (数値目標)	<p>◆業界・業種を超えたコラボレーションによって、新ビジネスを創出します。</p> <p>① ・複数の中小企業等をグループ化する「企業の森」を5つの分野で形成 ＜業界・業種を超えたコラボレーションによる新ビジネスの数(累計):毎年10件(㊸新規)&gt;</p>	◎	・新ビジネスの数 15件(150%)
	<p>◆企業の新たな分野進出や新たな販路開拓を支援します。</p> <p>② ・支援制度(京都エコノミック・ガーデニング支援強化事業)を活用し、試作・開発に取り組む中小企業数(累計) ＜採択企業数:10社(㊸新規)&gt; ・福祉・健康・医療分野に進出しようとする中小企業の新製品の販路開拓を、府の関係部局・機関が連携して支援 ＜支援件数:40件(㊸実績34件)&gt; ・京都産業育成コンソーシアムを中心としたオール京都体制で首都圏販路開拓を実施し、京都の知恵を生かした商品や企業を発信 ＜出展企業:120社(㊸実績111社)、来場者(バイヤー):900名(㊸新規)&gt; ・伝統産業の新たな販路開拓を、府の関係部局・機関が連携して支援 ＜クール京都分野での販路開拓件数:200件(㊸実績159件)&gt;</p>	○	・採択企業数 21件(210%) ・福祉・健康・医療分野進出企業支援件数 62件(155%) ・首都圏販路開拓支援出展企業 123ブース・109社(103%)、来場者 991名(110%) ・販路開拓件数 192件(96%)
	<p>◆食品分野について、若手料理人や農家など他業種とのコラボレーションによる新商品開発や、レンタルキッチンを活用した販売促進活動などのモデルプロジェクトを推進します。</p> <p>③ ＜モデルプロジェクト創設件数:10件(㊸新規)&gt;</p>	◎	・モデルプロジェクト創設件数 11件(110%)
	<p>◆自らの「強み」を生かしてイノベーションに取り組む「元気印中小企業」を認定し、中小企業の活性化を図ります。</p> <p>④ ＜「元気印中小企業」新規認定企業数:25件(㊸実績29件)&gt;</p>	◎	・新規認定企業数 26件(104%)
	<p>◆官公需について、府内中小企業の受注機会を拡大させます。</p> <p>⑤ ＜中小企業向け官公需発注割合 70.0% (㊸実績:集計中)&gt; ＜府内企業向け官公需発注割合 79.0% (㊸実績:集計中)&gt;</p>		・中小企業向け官公需発注割合 ㊸実績70.7%(101%) ・府内企業向け官公需発注割合 ㊸実績74.2%(95%)

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
3	<p>中小企業のまち創生のため、サービス業も含めたあらゆる業種での開業支援や事業継続支援により、府内の事業所数減少に歯止めをかけます。</p>		
達成手段 (数値目標)	<p>① ◆中小企業の事業継続に向けた戦略策定やそれを実現するための人材確保等を、トータルで支援します。          &lt;事業継続センターによるサポート件数:500件(㉗実績561件)、相談企業数:210社(㉘新規)、人材採用人数:15人(㉘新規)&gt;</p> <p>② ◆開業率アップを図るため、創業から安定経営までのハンズオン支援を強化します。          &lt;府の事業(ソフト知恵産業支援事業)で整備したコワーキングスペースを利用して開業を目指す起業家支援:20人(㉘新規)&gt;</p>	◎	◎
			◎
			◎
4	<p>次代の京都経済を牽引する産業を育成するため、エコ・エネやiPS、ヘルスケアなど、今後成長が期待できる産業の振興を図ります。</p>		
達成手段 (数値目標)	<p>① ◆中小企業等からのエコ・エネ化、省エネ化に関する相談や問合せにワンストップで対応し、FEMSの導入を支援します。          ・京都産業エコ・エネルギー推進機構に設置した「京都産業EMS推進本部」に専門人材(コンシェルジュ)を配置【環境部共管】          &lt;企業相談・訪問等件数:500件(㉘新規)&gt;          ・中小企業の製造現場へのFEMS導入を支援 &lt;京FEMS:10件 ㉗実績10件&gt;          ・エネルギーマネジメントシステムの必要性について周知を図るためのセミナー等を開催          &lt;セミナー参加者数:150人㉗実績121人&gt;          ・BEMS(ビル用エネルギーマネジメントシステム)、FEMS(工場用エネルギーマネジメントシステム)の導入を支援します。【環境部共管】          &lt;EMS支援件数 業務ビル(BEMS) 20件、工場(FEMS) 10件(㉗実績 BEMS 16件、FEMS 10件)&gt;</p> <p>② ◆iPS関連ビジネスへの新規参入を促進します。          ・中小企業等の参入・事業拡大をサポートするための「iPSネット(仮称)」を構築&lt;参画企業数:10件(㉘新規)&gt;          ・「ライフサイエンスセミナー」を開催【健康福祉部共管】</p> <p>③ ◆健康課題データ分析等を基に、商品・製品開発へのニーズを見える化し、ヘルスケア産業への新規参入等を促進します。          &lt;事業計画認定件数:3件(㉘新規)&gt;</p>	○	○
			◎
			◎
			◎

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
5	KICKを核としたオープンイノベーションの取組強化により、新産業創出を強力に推進します。		
達成手段 (数値目標)	① ◆KICKに共同研究開発プロジェクトや世界的な大型プロジェクトを集積させます。 ・産学・産産連携等による共同研究開発プロジェクトの誘致 <㊸末の集積プロジェクト数:累計30件(㊸実績13件)> ・国の研究機関や世界的な企業が参画する大型プロジェクトの誘致 <誘致件数:3件(㊸新規)>	△	・産学連携等プロジェクト集積数 累計23件(77%) ・大型プロジェクト誘致件数 0件(0%) 【未達成の要因・理由】 理化学研究所ほか誘致に向けて調整中のため。
	② ◆KICKにおけるオープンイノベーションを推進します。 ・入居を目指す中小企業・大学等の研究開発グループを組成するなど、研究テーマの高度化を支援 <支援件数:10件(㊸実績11件)> ・「水素企業の森」育成事業等により、中小企業や大学等が連携して行う水素産業研究開発プロジェクトを支援します。 【環境部共管】 ・KICK発研究成果の発信や研究交流を進めるためのセミナーや交流会等を開催 <セミナー等参加者数:300人(㊸新規)>	○	・地域産業育成産学連携推進事業採択(支援件数) 件数 10件(100%) ・地域産業育成産学連携推進事業により1件支援 ・セミナー等参加者数 約2,600人(867%)
	③ ◆KICKを舞台に、投資勧誘の専門家によるコンペを開催し、大学発ベンチャー等に対する資金調達等を支援します。 <支援件数:10件(㊸新規)>	◎	・資金調達支援件数 24件(240%)
6	「産業立地促進プロジェクト」をフル稼働させ、京都への人の流れづくり、仕事づくりなど地域創生につながる戦略的な企業誘致を推進します。		
達成手段 (数値目標)	① ◆企業誘致により京都への人の流れをつくり、雇用を創出し、地域での定住交流が進むよう、精力的な企業訪問を行います。 ・金融機関等との連携、企業懇談会やセミナーの開催 ・首都圏をはじめとした、新たな誘致対象企業の開拓 ・府内立地企業のフォローアップ <企業訪問件数:2,000件(㊸実績2,172件)> <誘致企業における地元雇用者数:300人 (㊸~㊸平均実績:280人)(㊸実績512人)> <物流効率化のための「物流ネットワーク(仮称)」への参画者数 15社(㊸実績8社)>	○	・企業訪問件数 2,044件(102%) ・誘致企業における地元雇用者数 514人(171%) ・物流効率化のための「物流ネットワーク(仮称)」への参画者数 13社(87%) 【未達成の要因・理由】 様々な分野の事業者の参画により、多様な意見の集約を図ることができたが、同業他社との意見交換を回避する企業もあったため。
	② ◆京都府雇用の安定・創出と地域経済の活性化を図るための企業の立地促進に関する条例の見直しを行い、社会経済情勢の変化に応じた企業誘致を行います。 ・北部地域への重点的な企業誘致 ・南田辺西地区において民間活力を活用した事業用地を開発 <新規企業立地:40件:北部10件(うち三和2件)、中部5件(うち新光悦2件)、南部25件 (㊸実績40件:北部11件(うち三和1件)、中部2件(うち新光悦村0件)、南部27件)>	○	・新規企業立地 45件(113%) 北部5件(うち三和2件)、中部5件(うち新光悦村0件)、南部35件

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
7	関西文化学術研究都市の新たなステージにおいて、スマートシティ・イノベーションシティの構築を進めます。		
達成手段 (数値目標)	<p>◆理化学研究所及び情報通信研究機構（NICT）との連携拠点づくりを進めます。</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理化学研究所との連携協定を締結</li> <li>・理化学研究所との脳科学やAI分野等に関する共同研究テーマづくりを推進</li> <li>・民間企業が参画したスマートモビリティワーキングを設置し、ICTを活用したスマートな公共交通システムの導入を目指した取組を推進</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理化学研究所と協定を締結(国際高等研究所を含む三者協定、平成28年5月24日)</li> <li>・「子どもの能力開発・脳科学研究」をテーマとして、理化学研究所の研究者が参加する産学公連携による研究会を発足(平成29年1月16日)</li> <li>・スマートモビリティワーキングの開催(平成28年7月・平成29年3月)し、インフラ整備の計画を策定</li> </ul>
	<p>◆最先端の研究や人の交流を加速化させ、成果の実用化に取り組みます。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・RDMM支援センターやリサーチコンプレックス事業を核としたイノベーション創出の推進</li> <li>・欧米等のスマートシティ・ネットワークを通じた外国人研究者数の増加 &lt;235人(㊹実績222人)&gt;</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RDMM支援センターの設置(平成28年4月)及びリサーチコンプレックスの本採択(平成28年9月)</li> <li>・外国人研究者数 209人(89%)</li> <li>【未達成の要因・理由】スマートシティエキスポやリサーチコンプレックス等の海外との産学公連携に十分に取り組みなかったため。</li> </ul>
	<p>◆京都スマートシティエキスポ2016を開催し、ワールドワイドなビジネスマッチングの機会を提供します。</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス商談の機会づくりを通じて、新たなビジネスを創出 &lt;ビジネス商談200件(㊹実績154件)&gt;</li> <li>・国内外の自治体や企業等の参画による「スマートシティ・グローバルネットワーク」によるワーキンググループを組成 &lt;5件(㊹実績2件)&gt;</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス商談件数 204件(102%)</li> <li>・ワーキンググループの組成 3件(60%)</li> <li>【未達成の要因・理由】スマートシティ・グローバルネットワークの活動が十分に機能せず、自治体や企業等が求めるテーマ設定まで至らなかったため。</li> </ul>
	<p>◆研究機関・企業の立地を促進し、分譲可能用地の売却を目指すとともに、さらなる立地環境の整備を進めます。</p> <p>④</p> <p>&lt;分譲面積:10ヘクタール(㊹実績22ヘクタール)&gt; (残り分譲可能用地約10ヘクタール)</p>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造成済用地 10.5ha(105%)</li> <li>参考:未造成用地 45ha(1社)</li> </ul>
	<p>◆国際会議等コンベンションが多く開催される都市を目指して、誘致活動を本格化します。</p> <p>⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・APECTEL54(平成28年秋開催)の成功に向けた地元一体の開催支援</li> <li>・けいはんなコンベンション誘致推進協議会の活動を本格化 &lt;誘致獲得件数3件(㊹新規)&gt;</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・APECTEL54(18カ国から150名が参加)の実施</li> <li>・獲得件数 3件(100%)</li> </ul>
	<p>◆ICTを活用したスマートな公共交通システムの導入を目指して取組を進めます。</p> <p>⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連節バスの平成29年度実走に向けた道路等の基盤整備</li> <li>・スマートライティングやスマートバスストップなどICTを活用したシステムの㊹導入に向けた準備</li> <li>・実証運行中である学研都市直通バスの本格運行に向けた協議会を設置</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連節バスの平成29年秋の実走に向けた道路等の改良を実施</li> <li>・スマートインフラ整備計画の策定</li> <li>・協議会開催(8回)及び実証運行の1年間延長</li> </ul>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)	
8	伝統産業の持つ文化力、技術力を産業として飛躍させるため、若手職人の新たな挑戦に対する支援を行うほか、商品や生産体制の構造改革を推進します。			
	達成手段 (数値目標)	① ◆マーケットインの手法により、国内外の継続した販路開拓に取り組みます。  ・海外のファッションや工芸品のマーケットニーズを熟知したプロデューサーや百貨店との連携 ・若手職人等による有名百貨店、「メゾン・エ・オブジェ」等海外商談会への出展 ・エアライン、百貨店優良顧客向けイーコマースの実施 ・TPPの発効を見据え、業界団体とアメリカ等への展開に関する研究会を開催 ・若手職人の新たな挑戦を国内外に大々的にPR ・「アートと交流」をテーマとした堀川団地の再生と伝統産業の新たな展開を推進するため、地元の理解・協力を得て、「堀川アート&クラフトファクトリー(仮称)」の整備事業に着手 <5つの職人工房とマーケットルートとのマッチング・商品改良 200件 (㊸新規)> <伝統産業の商品開発等に向けた連携企業数 30企業 (㊸実績52企業)> <売上額 1億円 (㊸実績49,730千円)> <海外での継続取引成約件数 5件 (㊸新規)>	○	・連携実施 参画事業社 44社 ・海外商談会 参画事業社 19社 ・Eコマースの取組(2事業者) ・研究会 2回開催 ・若手職人のPRを台湾、イタリア、シカゴ、東京で実施。 ・マッチング及び商品開発 254件 ・連携企業数 44社(147%) ・売上額 1億1300万円 ・海外販路開拓成約件数 2件
	② ◆京もの工芸品の販路拡大のため、業界団体等と一体となって「京もの愛用運動」を展開します。  <京もの愛用運動協力店の登録 100店舗 (㊸新規)> <新規京もの利用店舗数 20店舗 (㊸実績3店舗)>	△	・協力店 54店舗(54%) ・新規利用店舗 11店舗(55%) 【未達成の要因・理由】 事業スキームの設計に時間を要し、事業所の周知が不十分であったため。	
	③ ◆現在の生産状況に見合った伝統産業の生産体制の構造改革を行います。  ・織物、染色:多能工職人の育成のため、教育施設の設置、共同工場の設置を含めた内製化、流通改革 ・京焼・清水焼:情報発信や販売のための拠点を整備 <京もの認定工芸士の認定者数 15人 (㊸実績12人)> <伝統工芸士認定者数 100人 (㊸実績24人)>	△	・京もの認定工芸士 10人(67%) ・伝統工芸士認定数 34人(34%) 【未達成の要因・理由】 伝統工芸に携わる職人数の減少、特に後継者となる若手職人の不足のため。	
④ ◆伝統産業の生産基盤を守るため、生産に不可欠な設備の改修・更新や道具の確保を支援します。  <伝統産業設備投資支援件数 180件 (㊸実績205件)> <西陣織物(帯地)の生産量の維持 (㊸実績53万本)>	○	・設備投資支援 245件(136%) ・生産量 49万本(92%)		

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
	<p>⑤ ◆関係団体と一体となって和装(きもの)文化のユネスコ無形文化遺産登録活動を推進するとともに、若者のきもの着用機会を増やし、きものに関する関心を高めます。</p> <p>&lt;若年者のきもの着付け体験参加者数 2,000人 (㉗実績1,838人)&gt;          &lt;きものパスポートサポーター登録者数 250人 (㉗実績202人)&gt;</p>	○	<p>・参加者数 1940人(97%)          ・登録者数 251人(100%)</p>
9	<p>商店街創生センターが類型やステップに応じた伴走支援を行うことで、元気な商店街・商店群を創出します。</p>		
達成手段 (数値目標)	<p>① ◆「商店街カルテ」に基づき、外部の民間団体や近隣の地域団体等とも協力し、まちづくり会社など官民連携による推進組織をつくります。</p> <p>・商店街創生センターが重点的に支援を行う商店街を選定          &lt;創生商店街(重点支援商店街)における推進組織の創設 8箇所 (㉘新規)&gt;</p>	◎	<p>・9箇所(113%)</p>
	<p>② ◆商店街創生センターを中心に、商店街への出店支援や、商店街の個性を活かした特色づくりなどに取り組みます。</p> <p>・ハード、ソフト両面の補助事業等の活用 &lt;新規出店:3年間(㉗~㉙)で100件(㉗実績:10件)&gt;          ・学生・地域団体との連携や、安心安全な環境づくり、京都文化フェア関連事業による文化を切り口としたにぎわいづくりなどを実施          &lt;センターの支援により特徴のある事業に取り組む商店街数:105箇所(㉗実績:78箇所)&gt;</p>	◎	<p>・新規出店:3年間で100件(目標) →2年間で64件(実績(㉗)10件、㉘54件))          ・商店街数 107箇所(102%)</p>
	<p>③ ◆テーマでつなぐ「絆商店街(ネットワーク型商店群)」を新たに創出します。</p> <p>・「ストリート型商店街」のない市町村において、新たな「絆商店街」を創出 &lt;3年間(㉘~㉚)で9箇所以上 (㉘新規)&gt;</p>	◎	<p>・絆商店街:3年間で9箇所以上(目標) → 5箇所(実績)(久御山町1、井手町2、宇治田原町1、精華町1)</p>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
10	<p>「観光消費額1兆円」を目指して、外国人観光客の旺盛な消費を地域や中小企業の隅々まで行き渡らせるため、宿泊施設の確保対策、新しい観光づくりや情報発信等を展開します。</p>		
達成手段 (数値目標)	<p>◆各DMOや関係団体等による情報共有や課題解決策の協議により、観光戦略の方向性を提示します。</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「京都観光会議」の創設</li> <li>・観光大使及び観光アドバイザーの設置</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年1月23日設立</li> <li>・京都府文化観光大使、アドバイザー設置済</li> </ul>
	<p>◆消費単価が高い外国人観光客を中心に誘客を図り、①までに観光入込客数1億人、観光消費額1兆円を目指します。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>＜H28年観光入込客数:9,000万人、観光消費額:8,800億円(㊟実績:8,375万人、8,139億円)＞</li> <li>＜府内を訪れた観光客の当該旅行に対する評価(満足度)㊸80% ㊞実績83%(㊟集計中)＞</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>※集計中(6月発表予定)</li> <li>・府内を訪れた観光客の当該旅行に対する評価(満足度)㊟実績 89.2%</li> </ul>
	<p>◆安心・安全で適正な宿泊施設を確保するため、旅館等の宿泊施設が外国人受入環境の整備等のために行う施設改修の補助やオーベルジュ等の宿泊施設の誘致・情報発信等、旅館等における受入環境の整備を推進します。</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易宿泊所の認証制度を導入し、良質な宿泊施設を提供</li> <li>＜施設改修の支援:10件(㊟新規)＞</li> <li>＜宿泊施設の誘致:10件(㊟新規)＞</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設改修 13件(130%)</li> <li>・施設誘致:5件(50%)</li> <li>【未達成の要因・理由】</li> <li>海外プロモーションや現地案内等の誘致活動を展開したが、まだ具体的な誘致に至っていないものがあるため。</li> </ul>
	<p>◆交通アクセスの向上を生かした広域観光誘客やスポーツイベントを活用した集客など、新しい形の観光振興を進めます。</p> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベントの誘致</li> <li>＜産業施設を素材にした観光ルートやバスツアー等の造成:2コース(㊟新規)＞</li> <li>＜スポーツ観光の聖地を目指す市町村への支援:4市町村(㊟実績:2市町)＞</li> <li>＜TANTANロングライド参加者数:1,600人(㊟実績:1,553人)＞</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造成 2コース(100%)</li> <li>・市町村への支援 2市町(50%)</li> <li>【未達成の要因・理由】</li> <li>取り組む予定市町村の実施年度の先送り等のため。</li> <li>・参加者数 1527名(95%)</li> </ul>
11	<p>「もうひとつの京都」をテーマに観光の取組を推進し、観光交流人口を増大させるとともに、観光消費を増加させます。</p>		
達成手段 (数値目標)	<p>(「海」「森」「お茶」の京都)</p> <p>◆平成28年度をターゲットイヤーとする「森の京都」をはじめ、「海の京都」「お茶の京都」の自然、景観、歴史・文化、産業などの魅力を発信し、ブランドイメージの向上と観光誘客の促進を図ります。</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「海の京都博後祭」(ウォータープロジェクションショー)の開催</li> <li>・観光まちづくりを効果的かつ強力に推進する官民一体となったDMO組織の設立</li> <li>＜各市町村において統一コンセプトに基づく魅力ある景観形成を支援:15施設(㊟実績:9施設)＞</li> <li>＜観光ツアーの実施:「森」5企画・「お茶」3企画(㊟実績3企画・3企画)＞</li> <li>＜観光事業者、出版社、交通事業者等と連携した特集記事掲載の共同企画:「森」10企画・「お茶」5企画(㊟実績4企画・5企画)＞</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WPS開催(7月8、9日)(100%)</li> <li>・景観形成 10件(67%)</li> <li>【未達成の要因・理由】</li> <li>機会を捉えて周知を図ったが、実質的に今年度初めて対象となった森・お茶エリアでの申請が伸びなかったため。</li> <li>・ツアー 森14企画、茶7企画(263%)</li> <li>・記事掲載 森14企画、茶8企画(147%)</li> </ul>
	<p>(京都・かぐや姫観光)</p> <p>◆「もうひとつの京都」の表玄関となる乙訓地域を中心として、竹をはじめとする地域の魅力を生かした新しい観光メニューを創造します。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>＜竹、歴史遺産、文化・芸術などの地域の魅力を活かした体験型ツアー等の商品化:10企画(㊟実績:4企画)＞</li> <li>＜淀川三川交流地域の拠点施設のオープンを見据え、情報発信やイベントを実施:2回(㊟新規)＞</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアー等 19企画(190%)</li> <li>・イベント 4回(200%)</li> </ul>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
12	増加する外国人観光客を「もう一つの京都」に戦略的に誘客し、インバウンドによる地域創生を進めます。		
達成手段 (数値目標)	<p>◆プロモーションを強化し、個人旅行者のリピーターをターゲットに「もう一つの京都」への観光誘客を図ります。</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット市場向けのホームページを立ち上げ            &lt;外国人宿泊者数 ⑳208万人㉑実績187万人&gt;            &lt;トッププロモーション2回(㉑実績2回)&gt;            &lt;海外観光キャンペーン2回(㉑新規)、海外物産展2回(㉑実績2回)&gt;            &lt;海外メディア発信70件(㉑実績71件)&gt;</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多言語ホームページ 3月23日公開</li> <li>・外国人宿泊者数 6月発表予定</li> <li>・トッププロモーション 3回(150%)</li> <li>・海外観光キャンペーン 3回(150%)、海外物産展2回(100%)</li> <li>・海外メディア発信 70件(100%)</li> </ul>
	<p>◆教育旅行やMICE誘致など、テーマ性を持った観光誘客により、次世代の京都ファンづくりや付加価値の高い観光誘客に取り組みます。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・和婚の推進</li> <li>・フェアトリップの実施            &lt;教育旅行誘致 35件(㉑支援33件)&gt;            &lt;府内での国際会議開催件数:220件(㉑実績:213件)&gt;            &lt;府域での国際会議開催件数:10件(㉑実績10件)&gt;</li> </ul>	○ ◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和婚の推進            (香港:7月調査、10月個別相談、2月和装ファッションショー)</li> <li>・教育旅行誘致 40件(114%)</li> <li>・府内での国際会議開催件数 224件(102%)</li> <li>・府域での国際会議開催件数 12件(120%)</li> </ul>
	<p>◆外国人観光客の受入機運の醸成やムスリム(ハラール)対応、多言語環境を整備し、インバウンド拡大を地方創生につなげます。</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5カ国語表記商店街ガイドの配布 16万冊配布、WEB発信</li> <li>・災害時における外国語表記ガイドの周知            &lt;Japan_Free_Wi-Fi_Kyotoアクセスポイント数800件(㉑実績667件)&gt;            &lt;おもてなし研修実施件数 6回(㉑実績1回20人)&gt;            &lt;ムスリム対応施設10件(㉑新規)&gt;</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5カ国語表記商店街ガイドを配布・WEB配信済</li> <li>・災害時における外国語表記ガイドを観光協会等に周知済</li> <li>・Japan_Free_Wi-Fi_Kyotoアクセスポイント数 1225件(153%)</li> <li>・おもてなし研修実施件数 5回(大学講座含む)(83%)【未達成の要因・理由】            1回で複数日実施している研修もあり、実質的には目標達成。</li> <li>・ムスリム対応施設 25件(250%)</li> </ul>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
13	京都舞鶴港を、京都府の物流ネットワークの拠点、関西経済圏における日本海側ゲートウェイとするため、対岸諸国との定期航路を拡充するとともに、クルーズ客船の誘致に取り組みます。		
達成手段 (数値目標)	<p>① ◆港周辺の北近畿地域を中心に重点的な集荷活動を行い、過去最高のコンテナ取扱量を達成します。</p> <p>&lt;コンテナ取扱量:10,000TEU (㊟実績:8,620TEU)&gt;          &lt;貿易取扱量:1,187万t (㊟実績:1,103万t)&gt;</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテナ取扱量 11,493TEU(115%)</li> <li>・貿易取扱量 1,083万トン(91%)</li> </ul>
	<p>② ◆関西唯一の日本海側拠点港として、日韓露国際フェリー直行航路の開設を船会社に働きかけ、早期に実現させます。</p> <p>&lt;定期航路数:5航路 (㊟実績:4航路)&gt;          &lt;日韓露国際フェリーを利用した出入国者の数:5,000人(㊟実績:約440人)&gt;</p>	○ △	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期航路数 4航路(80%)</li> <li>【未達成の要因・理由】</li> <li>航路獲得に必要な貨物量確保の見通しが立たなかったため。</li> <li>・出入国者の数 56人(1%)</li> <li>【未達成の要因・理由】</li> <li>国際フェリーの直航化が実現しなかったため。</li> </ul>
	<p>③ ◆クルーズ客船の誘致に努めるとともに、地元と連携し乗船客に満足してもらえるよう「おもてなし」に取り組みます。</p> <p>・「海の京都」、「森の京都」等の取組と連携した北中部地域を始めとする府域への誘客を実施</p> <p>&lt;クルーズ客船の寄港決定数:18寄港 (㊟実績:17寄港決定(うち2は宮津港寄港)実際の寄港数は10)&gt;          &lt;クルーズ船乗客数24,000人(㊟実績:約9,600人(宮津港・伊根湾寄港を含む)&gt;          &lt;クルーズ船向けおもてなし企画の実施 10回(コスタ・ビクトリア寄港時) (㊟新規)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前寄港地での京都北部地域のPR強化によるクルーズ乗船客の誘導</li> <li>・列車運行時間に連動したシャトルバス、北部地域の観光地を周遊するループバスの運行</li> <li>・夜間出航までの時間を楽しむことができるおもてなしイベント等の開催</li> <li>・北部地域の免税店へのクルーズ乗船客、船員の誘導(外国語に通じる店舗を紹介するガイドブック等を配布)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クルーズ客船の寄港決定数 41回(228%)</li> <li>・クルーズ船乗船客数 22,400人(93%)</li> <li>・おもてなし企画の実施回数 10回(100%)</li> </ul>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
14	世界主要都市の「京都倶楽部」の活用やジェットロ京都等との連携により、海外販路開拓、外資系企業の誘致、海外への情報発信(インバウンド対策)を促進し、京都経済の活性化を図ります。		
達成手段 (数値目標)	<p>◆アジア諸国での京都観光物産展の開催や有力バイヤーの京都招聘等により、京都製品の輸出拡大を図ります。</p> <p>① &lt;販売額:1,000,000千円(㊟実績:543,470千円)&gt; &lt;ビジネスマッチング件数:150件(㊟新規)&gt;</p>	○	<p>・販売額 946,300千円(95%) ・ビジネスマッチング件数 154件(102%)</p>
	<p>◆ジェットロ京都の海外事務所ネットワーク、ノウハウ等を活用し、外資系企業の誘致を促進します。</p> <p>② ・企業経営者等海外人材の京都への招聘(京都の投資環境のレクチャー、工場用地やインキュベート施設、企業等の視察等を通じ、海外企業の京都のビジネス環境への理解を促進し、立地・拠点設立への関心を醸成) ・京都の地域資源に対する理解促進や京都企業とのビジネスマッチングの実施 &lt;外資系企業立地件数:5件(㊟実績:3件)&gt;</p>	◎	<p>・外資系企業立地件数 5件(100%)</p>
	<p>◆各京都倶楽部、パワーブロガーとの連携により、府内への外国人観光客誘致を促進します。</p> <p>③ &lt;府内情報(観光、物産)を週2回発信 発信件数:100回(㊟新規)&gt;</p>	◎	<p>・府内情報発信件数 119件(119%)</p>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
15	ちーびず推進員を増員し、特に「森の京都」「お茶の京都」や乙訓地域、女性や高齢者を中心に地域の力を強化し、府民協働でちーびずを推進します。		
達成手段 (数値目標)	◆府民協働により、ちーびずのターゲット市場を構築します。 ① ・ちーびず推進員と連携したコーディネーターや、実践的な支援の実施による府民目線でのちーびずチャレンジの促進 ・ちーびずマルシェの連続開催(リレーマルシェ) ＜ちーびず推進員の配置10人(㊟実績:8人)、ちーびずマルシェの開催40回(㊟新規)＞	◎	・推進員 10名(100%) ・マルシェ開催 60回(150%)
	◆ちーびずに取り組む団体等の交流・マッチングなど、応援ネットワークによって運営を支援します。 ② ・先駆的实践者や経営の専門家などによるちーびず活動の自立継続の支援 ・個々のちーびず情報の発信、アピールによる効果的なプロモーション支援 ＜専門家派遣150件(㊟実績:148件)、発信件数150件(㊟実績:150件)、応援カフェの開催20回(㊟実績:18回)＞	○	・専門家派遣 172件(115%) ・発信件数 139件(93%) ・応援カフェ開催数 18回(90%)
	◆地域力再生交付金やきょうと元気な地域づくり応援ファンドなど、ちーびず創出を資金面から支援します。 ③ ・地域力再生交付金に新たに輝く女性応援メニューや輝く高齢者応援メニューを創設 ＜創出数70件(㊟実績:61件)＞	△	・創出数 57件(81%) 【未達成の要因・理由】 立ち上げ支援プログラムの需要が減ったため。
	◆「森の京都」「お茶の京都」や乙訓地域の振興施策とタイアップして、府民自らがアクションを起こすちーびずを創出・強化します。 ④ ＜ちーびずマルシェの開催 20回(再掲)＞ ＜専門家派遣75件、発信件数75件、応援カフェの開催10回(再掲)＞ ＜資金支援によるちーびず創出数25件(再掲)＞	△	・マルシェ 25件(125%) ・専門家派遣 61件(81%) 【未達成の要因・理由】 必要な支援が行き渡るよう対象者を厳選したため。  ・発信件数 75件(100%) ・応援カフェ開催数 8回(80%) 【未達成の要因・理由】 事業者の準備不足などにより予定回数開催できなかったため。  ・創出数 21件(84%) 【未達成の要因・理由】 制度理解を深めるための広報やPRが不足したため。

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
16	みやこ構想セカンドステージを進めるとともに地域の強みを活かした産業を振興し、活力ある地域づくりを進めます。		
達成手段 (数値目標)	① <b>(北京都ものづくり拠点構想等)</b> ◆「北部産業技術支援センター・綾部」のリニューアル計画素案を中心に、北部リサーチパーク構想を推進します。 ◆丹後・知恵のものづくりパークセカンドステージへ向け、新たな機能検討のため、地元ニーズの把握を行います。	◎	・北部リサーチパーク構想 関係機関4者で合意した「北部産業創造センター(仮称)」の整備計画概要を11月に共同発表(京都府・綾部市・グンゼ・京都工芸繊維大学) ・丹後・知恵のものづくりパーク パーク入居企業のニーズ調査実施 入居継続の意向を確認するとともに、新たな機能として高度設計人材の育成支援等の要望を聴取
	② <b>(新京都伝統工芸ビレッジ構想)</b> ◆新光悦村に整備した移動式の職人工房を活用し、若手職人の販売や交流機会をつくるなどの支援を行うとともに、工芸関係者の新光悦村への誘致を進めます。  <森の京都博in新光悦村等の来場者数:1,000人(◎新規)> <新規企業立地(新光悦村):2件【再掲】>	△	・来場者数 600人(60%) 【未達成の要因・理由】 悪天候での開催であったため。  △ ・新光悦村立地件数 0件(0%) 【未達成の要因・理由】 有望案件は複数件あったが、企業の事業計画検討に時間を要するため年度内には契約に至らず、年度を越えた現在も交渉中であるため。
	③ <b>(京都クロスメディアパーク構想)</b> ◆太秦エリアを中心とした京都クロスメディアパークの整備推進のため、「京都クロスメディアパーク推進会議(仮称)」を創設し、映像を核とした産業の育成と府内への波及・展開を図ります。  ・国内外との連携強化による映画・映像産業振興の拡充 <企業とクリエイター等のマッチングサイトの構築・運営 マッチング数:5件(◎新規)> <コンテンツ関連企業・事業への支援数:100件(◎実績168件)> <若手クリエイター育成者数:85人(◎実績81人)>	◎	・マッチング数 6件(120%) ・コンテンツ関連企業・事業への支援数 173件(173%) ・若手クリエイター育成者数 90人(106%)
	④ <b>(知恵産業首都構想)</b> ◆「京都産業育成コンソーシアム」のもと、「京都知恵産業支援共同事業」を府市協働で進めるとともに、「知恵の経営」等の事業のワンストップ化を進め、「知恵産業のまち・京都」を構築します。  <知恵の経営認証企業:30件(◎実績30件)>	△	・知恵の経営認証企業 14件(47%) 【未達成の要因・理由】 認証に向けて取り組む企業が、人材不足等の理由等により、途中で中絶するケースが目立ったため。

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
17	現在の雇用情勢に対応し、中小企業の人材確保対策を推進するとともに、産業施策と雇用施策の一体的推進や京都ジョブパークによる就職促進、高等技術専門校による人材育成を強化します。		
達成手段 (数値目標)	<p>◆大学へのアウトリーチを強化し、学生の京都企業への就職を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生支援をワンストップで行う「学生就職センター」を京都ジョブパークに新設</li> <li>・商工会議所等と連携した学生や教職員等を対象とした企業見学会や京都企業の魅力を伝える講座を開催  &lt;「学生就職センター」における京都企業への就職内定者数 1,200人(㊸新規)&gt;</li> </ul> <p>◆全国から京都への人材流入を促進し、中小企業の人材確保を支援します。</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏の就職フェア等での京都企業の魅力発信や移住コンシェルジュとの連携</li> <li>・ふるさとテレワークの推進  &lt;京都ジョブパークUIJターンコーナーにおける就職内定者数 300人(㊸新規)&gt;  &lt;首都圏大学生を対象としたインターンシップ参加者数 50人(㊸新規)&gt;</li> </ul> <p>◆介護・福祉分野において安定したサービスが可能となるよう介護・福祉人材を確保します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村や福祉団体等と連携し、就職フェアやマッチング事業、職場環境改善や魅力発信など、総合的な対策を実施  &lt;確保人数：2,350人(うち府北部地域確保人数：350人) (㊸ 2,384人(北部 350人))&gt; 【健康福祉部共管】</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学生就職センター」就職内定者数 1,389人(116%)</li> <li>・「UIJターンコーナー」就職内定者数 288人(96%)</li> <li>・首都圏大学生インターンシップ参加者 57人(114%)</li> <li>・介護・福祉人材の確保人数 2,408人(102%)北部362人(103%)</li> </ul>
	<p>◆産業施策と雇用施策を一体的に進めるとともに、人材育成の強化、働き方改革、サービス産業等における労働生産性の向上等により、正規雇用1万人を創出します。</p> <p>&lt;正規雇用創出 10,000人 ㊸実績(1月末時点)7,179人&gt;</p> <p>②</p> <p>&lt;地域産業雇用創出事業(京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト)による雇用創出数 1,000人 (うち正規雇用率85%) ㊸実績(3月末時点)1,817人 85%&gt;</p> <p>&lt;京都ジョブパークにおける就職内定者数 11,000人 ㊸実績10,361人 うち正規雇用就職内定者数 7,000人 ㊸実績6,161人&gt;</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正規雇用創出 9,774人(98%)※12月末実績</li> <li>・地域産業雇用創出事業(京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト)による雇用創出数 1,676人(168%) (うち正規雇用率82%(96%))※3月末</li> </ul>
	<p>◆企業ニーズ及び求職者ニーズを踏まえた訓練内容の充実のため、高等技術専門校の再編準備を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離職者等の再就職に必要な短期職業訓練の実施や職業訓練を充実</li> <li>・平成29年度に向け、女性が受講しやすい訓練科を新設</li> </ul> <p>③</p> <p>&lt;離職者等再就職訓練 就職率80%以上 (㊸実績(3月末時点)78.6%)&gt;  &lt;高等技術専門校(施設内訓練) 卒業生就職率100% (㊸実績(3月末時点)92.1%)&gt;</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JP就職内定者数 12,432人(113%) うち正規雇用就職内定者数 8,496人(121%)</li> <li>・介護・福祉やIT・Webデザイン等、再就職に効果的な短期職業訓練を実施&lt;92コース開講&gt;</li> <li>・京都校に女性が受講しやすいものづくり分野の多能工社員を養成する「プロダクト・マネジメント科」を平成29年4月に開講</li> <li>・離職者等再就職訓練 就職率の達成率 76.2%※3月末(95%)</li> <li>・高等技術専門校(施設内訓練)卒業生就職率 95%※3月末(95%)</li> </ul>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
18	「京都府若者の就職等の支援に関する条例」に基づき、京都ジョブパークにおける就職支援や高等技術専門学校等における職業訓練と合わせ、若者の就職をオール京都で支援します。		
達成手段 (数値目標)	<p>◆若者が希望と能力に応じた職業に就くことができるよう、京都ジョブパークの資源を最大限に活用する中で、若者の就職等の支援を総合的に実施します。</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;新規登録者数 2,300人(㊟実績2,146人)&gt;</li> <li>&lt;就職内定者数 2,000人(㊟実績1,837人)&gt;</li> <li>&lt;うち正規雇用就職内定者数 1,300人(㊟実績1,230人)&gt;</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規登録者数 7,188人(313%)</li> <li>・就職内定者数 6,271人(316%)</li> <li>うち正規雇用就職内定者数 5,788人(445%)</li> </ul>
	<p>◆若者の就職支援に取り組むNPO等を支援するとともに、就職の難しい若者に対し、基礎訓練から現場実習、就職後の定着までの伴走型訓練を実施します。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;就職支援計画認定事業者数 25件(㊟実績13件)&gt;</li> <li>&lt;訓練後の若者就職率80%以上(㊟実績(3月末時点) 71%)&gt;</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職支援計画認定事業者数 24件(96%)</li> <li>・若者就職支援等推進事業における訓練後の若者就職率 74%(93%)※3月末</li> </ul>
	<p>◆若者の職場定着のため、社会保険労務士会などと連携し、支援します。</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「京都ブラックバイト対策協議会」(京都労働局、京都府、京都市)において、労働関係法令や労働相談窓口の周知啓発、事業所への就労環境向上に向けた啓発等を強化</li> <li>・社会保険労務士会との連携により事業主の職場環境改善の取組を支援するとともに、若者からの相談対応を充実・強化</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;就労環境改善アドバイザーによる企業訪問件数 3,600件(㊟新規)&gt;</li> <li>&lt;京都わかもの自立応援企業登録件数 20件(㊟実績0件)&gt;</li> <li>&lt;京都ジョブパーク利用者定着率(3箇月後) 90%(㊟実績84.1%)&gt;</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働法制に関する授業・講義や労働相談の実施、学生アルバイトの適正な労働条件確保について要請(経済団体等18団体)、京都府大学安全・安心推進協議会総会(6月)での労働局長からの取組周知など</li> <li>・就労環境改善アドバイザーによる企業訪問件数 3,593件(99%)</li> <li>・京都わかもの自立応援企業認証件数 5件(25%)</li> </ul> <p>【未達成の要因・理由】</p> <p>制度周知に努めたが、認証対象となる企業数も少なく達成に至らなかったため。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都ジョブパーク利用者定着率(3箇月後) 91.8%(102%)</li> </ul>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
	<p>◆若者の非正規雇用の増加や新卒就職者の早期離職の問題等に対応するため、産学公のオール京都体制で構成する「京都キャリア教育推進協議会」を中心に、キャリア教育を実施します。</p> <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学と連携した大学1回生からの京都企業への早期インターンシップの実施</li> <li>・若者が就職する前の段階で、労働法令に関する知識や職業観を身につけるための出前講座の開催</li> </ul> <p>&lt;大学生の早期インターンシップ参加者数 550人(㊟実績137人)&gt;          &lt;高校生・大学生等若年者への出前講座 50件、4,000人(㊟実績50件、3,866人)&gt;</p>		<p>△</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップ参加者数 441人(80%)</li> </ul> <p>【未達成の要因・理由】          集客が見込めるインターンシップ関連イベントが年度後半のみで、イベントのない夏～秋季に見込んでいた学生の参加が低調であったため。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座 44件(88%)、3,607人(90%)</li> </ul>
19	<p>深刻化する観光産業の人手不足対策や経営革新を支援し、京都の「観光力」を強化するとともに、特に人手不足が顕著な北部地域における人材確保対策を推進します。</p>		
達成手段 (数値目標)	<p>◆観光従事者の人材育成やスキル向上を図るとともに、京都ジョブパークとの連携により観光産業の人材確保に繋がります。</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅館等従事者を対象とした観光人材育成の実施</li> <li>・観光従事者に対する表彰制度について表彰者の要件を緩和</li> </ul> <p>&lt;京都ジョブパークと連携した人材確保:100人(㊟新規)&gt;</p>	◎	◎
	<p>◆大学と連携した経営者等の人材育成や京都産業21と連携した経営支援により、観光関連企業の生産性の向上を図ります。</p> <p>②</p> <p>&lt;大学との連携による人材育成:20名(㊟新規)&gt;          &lt;京都産業21による支援企業:100社(㊟新規)&gt;</p>	◎	◎
	<p>◆平成28年4月開校の福知山公立大学をはじめ、北部地域の学校との連携を強化して、インターンシップや地元企業見学等に取り組み、北部企業への就職を推進します。</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域版「京都労働経済活力会議」の開催(乙訓・山城・南丹・中丹・丹後)</li> </ul> <p>&lt;北京都ジョブパークにおける就職内定者数 1,200人(㊟新規)&gt;          &lt;福知山公立大学との連携によるインターンシップ、地元企業見学会 参加者数 150名(㊟新規)&gt;</p>	◎	◎
	<p>◆首都圏での就職フェア等による京都企業の魅力発信や、移住コンシェルジュとの連携のほか、ふるさとテレワークの推進等により北部地域への人材流入を促進します。</p> <p>④</p> <p>&lt;京都ジョブパークUIターンコーナーにおける就職内定者数 北部地域 150人(㊟新規)&gt;</p>	◎	◎

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
20	障害者の適性・能力に応じたきめ細かな就労支援及び障害者の受入企業のサポート機能の強化等により、速やかに障害者雇用率2.2%の達成を支援します。		
達成手段 (数値目標)	<p>◆障害者が相応しい訓練・セミナーや実習を選択できる仕組みを構築し、京都ジョブパーク・はあとふるコーナーを核として、相談から企業実習、職場定着までのきめ細かな就労支援を推進します。</p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;障害者雇用率 2.2%(㊦実績1.97%)&gt;</li> <li>&lt;障害者の就労に向けた作業能力評価 受検者数500人(㊦新規)&gt;</li> <li>&lt;はあとふるコーナー利用者 新規登録者数500人(㊦実績372人)</li> <li>就職内定者数280人(㊦実績237人)&gt;</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者雇用率 2.02%(92%)</li> <li>・受検者数 273人(55%)</li> <li>【未達成の要因・理由】</li> <li>新規事業で評価の仕組みづくりに時間を要したため。(出張による評価の実施等により利用促進を図ったが目標に及ばなかった)</li> <li>・新規登録者数 458人(92%)</li> <li>・就職内定者数 260人(93%)</li> </ul>
	<p>◆「特例子会社設立推進チーム」を創設し、障害のある方の雇用の場の創出・拡大を進めます。</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特例子会社設立を検討する企業への支援を強化</li> <li>・法定雇用率未達成企業の訪問実施</li> <li>・「障害者雇用企業サポートセンター」による障害者を雇用する企業へのアドバイザー派遣等により、障害者雇用に対する理解を促進</li> <li>&lt;法定雇用率達成企業の割合 55.8%(㊦実績49.7%)&gt;</li> <li>&lt;特例子会社等の設立 3社(㊦実績1社)&gt;</li> <li>&lt;支援企業数 500社(㊦新規)&gt;</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法定雇用率達成企業の割合 50.6%(91%)</li> <li>・特例子会社設立 2社(67%)</li> <li>【未達成の要因・理由】</li> <li>会社設立に当たり多くの資本・準備等が必要であり、会社内部での意思決定に時間を要し、3社目の特例子会社認定は4月になったため。</li> <li>・支援企業数 731社(146%)</li> </ul>